

令和5年度 シラバス 【国語】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材	
言語文化	2	1	2 東書言文701 新編言語文化	新編言語文化 学習課題ノート 基本の現代文 3ステップオリジナル問題集1	
<p>◇科目の概要と目標</p> <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。</p> <p>1 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解して適切に使うことができる。</p> <p>2 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>3 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>					
◇科目の観点別評価の目標					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。	
月	4月	5月		6月	7月
科目名	単元	単元	単元	単元	単元
言語文化	随筆「さくらさくらさくら」	古文入門 「古文に親しむ」 「児のそら寝」	中間考査	小説1 「とんかつ」	漢文入門 「訓読の基本」
知識・表現	・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・基本的な仮名遣いや発音のルールを理解することができる。	現代文編「さくらさくらさくら」の漢字・語句に関する問い約10点分 古文編「古文に親しむ」「児のそら寝」の仮名遣いに関する問い約20点分	・主な常用漢字を書き、使っている。 ・語句を文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・登場人物の人物像をそれぞれ把握することができる。	・返り点や送り仮名を理解し、漢文を読み、書き下し文にすることができる。 ・格言の意味を考えることができる。 ・再読文字の法則と意味を理解している。
思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基底的に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・登場人物の言動を手がかりに話の展開を理解し、話の面白さに気付くことができる。	現代文編「さくらさくらさくら」の内容に関する「読むこと」「書くこと」の問い約40点分 古文編「児のそら寝」の内容に関する「読むこと」の問い約30点分	・進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	・格言の内容を理解できている。
主体的に学習に取り組む態度	進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。	副教材やノートへの取り組み状況を評価する。	・進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。
月	7月	9月	10月	11月	12月
科目名	単元	単元	単元	単元	単元
言語文化	詩歌 「I was born」	小説2 「羅生門」	中間考査	物語 「伊勢物語」	故事成語 「守株」
知識・表現		・辞書を使用し本文中に出てくる語句の意味を調べ、語彙を増やすことができる。 ・直喩や擬人法など、小説独自の表現に触れ、言語表現の幅を広げることができる。	現代文編「羅生門」の漢字や語句に関する問い約10点分 漢文編「故事成語」の訓読する技能や文法的知識に関する問い20点分	・歌物語の魅力を理解し、物語のすじをつかむことができる。	・訓読の知識を活かし、文法的な理解を深めることができる。
思考・判断・表現	・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方・感じ方・考え方を深めている。	・「読むこと」において、人物の会話を整理し、言動から心情を把握し、説明することができる。 ・「書くこと」において、「羅生門」の主題について考え、自分なりの解釈を表現できる。	現代文編「I was born」における「読むこと」の問い約15点分 「羅生門」における「読むこと」の問い30点分 漢文編「守株」における「読むこと」の問い25点分	・「読むこと」において、登場人物の人物像をまとめ、それぞれの心情を推し量ることができる。	・「読むこと」において、古代の人間の姿を自分自身と照らして物事を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・進んで散文詩を読み味わい、学習課題に沿って、詩や題名にこめられた作者の思いについて考えようとしている。	・芥川龍之介の代表作に関心を持ち、その作品の特徴に触れている。また、芥川が活躍した時代背景についても理解を深めることができる。	副教材や授業ノートの取り組み状況を評価する。振り返りシートにおいて粘り強く学習を調整しようとしているかどうかを評価する。	・文法的な法則を考慮にいれながら和歌の解釈を行い、物語全体の面白さを理解することができる。【振り返りシート】	・古代中国の話に関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができる。
月	12月	1月	2月	3月 年間	
科目名	単元	単元	単元	学年末考査	
言語文化	小説 「夢十夜」	物語 「平家物語」	史話 「曹公戦於白馬」	総合評価	
知識・表現	・特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・登場人物や場面の把握、心情の変化について理解している。	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・語句や訓読の決まりなどの知識を活かし、文章に出てくる表現技法に着目し、文法的な理解を深めることができる。 ・反語や疑問などの文法的な表現に留意しながら本文の内容を理解できる。	現代文編「夢十夜」の漢字・語句に関する問い約10点分 古文編「平家物語」の基礎知識に関する問い15点分。漢文編「史話」の訓読する技能や文法的知識の問い15点分	・我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。
思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・「読むこと」において、それぞれの話の登場人物の特徴を押さえ、話の面白さを理解することができる。	現代文編「夢十夜」の「読むこと」に関する問い約20点分 古文編「平家物語」の「読むこと」に関する問い20点分 漢文編「史話」の「読むこと」に関する問い20点分	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、それぞれの話の登場人物の特徴を押さえ、話の面白さを理解することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・現実世界とは異なる小説世界を味わい、疑問点や関心のある点を挙げるができる。また、それに対して解釈を試みるができる。【振り返りシート】	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。【音読テスト】	・進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。	副教材や授業ノート、音読テストの取り組み状況、振り返りシートにおいて学習を調整しようとしているかどうかを評価する。	・進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、話のおもしろさを味わおうとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。 ・進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。